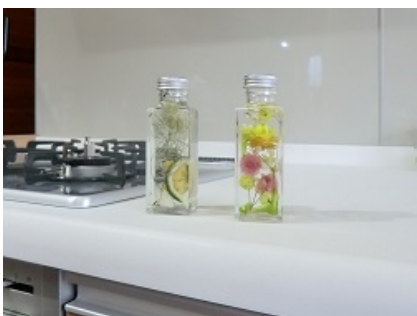


岡崎店ショールームオープンイベント

元々の三河営業所の1階をリフォームショールームへと改装し、7月28日、29日でオープンイベントを開催しました。床のフローリングが、椅子のキャスターでかなり傷んでいたためタイルカーペット敷きに変更し、お客様が歩くのにも静かになりました。紺の床に、オレンジのアクセントを付け、イメージが大きく変わり、そこに水回り商品の展示と打ち合わせスペースの設置を行いました。元々が、セブンハウスのテラ工法での建築のため、無垢の木がいっぱいで、木材も年月がたち、あめ色に変色してきており濃いブルーの床によくマッチしています。カラフルな家具も、明るい雰囲気演出しています。イベントは、朝から大勢の方が来店され、用意していた粗品が品切れになる程でした。ハーバリウムの体験会も実施し、皆さんそれぞれの個性あるきれいな作品を作られて、楽しんでおられました。



教会の駆除工事

岐阜営業所管内の岐阜県可児市にある可児キリスト教会のしるあり駆除工事を行いました。教会は、約30年前にドイツ人宣教師により建てられたもので、大変美しく素晴らしい建築物です。ほとんど

が手作りとのことですが、外観も内装もとても素敵です。礼拝やゴスペルなど、定期的に行われ、地域の方々とのつながりを大切にしながら伝道されているとのこと。こうした建築物は、床下がないため、駆除にはいろいろ技術が必要ですが、シロアリの生態を考慮した遅効性で伝播性のある薬剤を用いて駆除工事を行いました。ドイツには、あまりシロアリ被害はないかもしれませんが、建築した時はシロアリ被害にあうとは考えていなかったかもしれませんね。薬剤は、ドイツのバイエル社のものを使用していますが、こうした素晴らしい、地域の方々に愛されている建築物は、ずっと長く残って欲しいものです。そうしたお役に立てたことは、大変うれいいですね。



喫煙率の減少

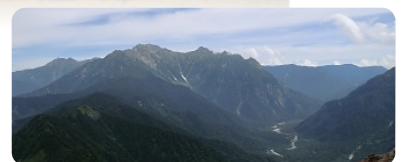
3月末時点でのアンケート調査の結果、男性社員の喫煙者は、94人から79人へと減少し、男性社員の喫煙率は、58.0%から、50.6%へと大きく下がりました。大変良い傾向で、多くの方のご理解いただき、さらにこれが継続していけば素晴らしいのですが、ただ、成人男性の平均喫煙率は28.2%とのことで、まだ平均値を大きく上回っています。当社は、20代から50代まで、男性のすべての年代で喫煙率が高くなっており、喫煙率の高い40代、50代の社員比率が高いからというわけではありません。一般的には喫煙率の低い20代、30代で、当社は40代、50代と大差ない喫煙率となっています。また、女性社員の喫煙率も、若干平均より高い数字となっています。こちらは母集団が少ないので、会社全体の健康度の向上を考える場合、やはり社員数の多い、男性社員の喫煙率を下げていくことが、引き続き重要な課題です。

服装のカジュアル化

会社での服装に関するルールは、慣習に基づくもので、特に細かく明文化されているものはなく、就業規則には「日常における執務態度は、常に服装および言語に気を付けなければならない。」「社員は、特別の場合を除き、執務中は会社が貸与した所定の被服を着用しなければならない。」「業務遂行上、不都合な服装などしないこと。」といった事が書いてあります。もっともな事であり、守られなくてはいいませんが、2番目のルールは、ちょっと古いままであり、主に工務で現場にでる場合であり、営業や事務の仕事をする場合には、当てはまらない内容だと思います。昨今の世の中の流れを見ると、もちろん業界にもよりますが、服装はカジュアルな方向に移っており、昔のような所謂、背広を着なくてはならないということは、無いと思います。法人客を訪問する時と、エンドユーザーを訪問する時では、状況も違いますし、伺う場所に依りて、当然服装は変わってくると思いますが、TPOにあわせて、適当なものを使い分けてもらえればと思います。メーカーや商社では、かなりカジュアルになっており、フォーマルデーとカジュアルデーで使い分けしているところもあります。IT産業や広告代理店のデザイナー、芸能関係は、本当に自由です。当社は、昔からそんなに硬い会社ではなく、業界慣習にそう縛られず、若々しくありたいと思いますが、業界がわりと堅めなので、「ちょっとカジュアル化」からスタートしていけば、いいのではないかと思います。

作業服の見直し

現場工務作業用の作業服を新しく見直しをしよう、総務部で検討を始めました。本日も転居しますし、イメージ一新という意味もあり、ちょっとカッコよく出来ればいいかと探しています。これに伴い、営業用の水色のボタンダウンと白のポロシャツは廃止して、工務用と同じものを供用出来ないかと考えています。まだ検討中ですが、ご意見があれば総務部まで。



夏真っ盛り、海へ山へ飛び出そう！

施工事例紹介

施工場所 石川県金沢市
 構造 木造2階建て
 工事名 J様邸洋間断熱工事
 仕様 天井:グラスウール
 壁:ウッドワン 断熱改修パネル「あったかベ」
 床:スタイロフォーム
 窓:YKKAP エピソード(Low-e ガラス)
 YKKAP 内窓ブラマードU



施工前



施工中



施工後

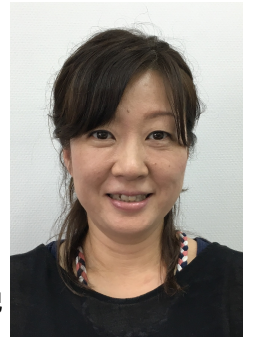
担当 北陸営業所 辻 匡弘

角部屋で日当たりが良く、風通しも良いお部屋でしたが、床下や壁の断熱がされていなかったことやサッシからすきま風が入ることで、冬場の暖房の効きが悪く、非常に寒いので改善したいとのことでした。

ご提案の結果、外部に面した壁には内側から断熱パネルを張り、サッシは一か所を樹脂サッシに入替えて、もう一か所は内窓を取付けました。床は下からの断熱工事が難しかったので、既存の床の上に断熱施工をして、フローリングを重ね張りにし、天井にも断熱材を敷き込みました。サッシや壁の断熱工事をしたことで、断熱性だけでなく、遮音性も非常によくになったことは工事中すぐに体感出来ました。部屋の断熱性、気密性が格段に向上した分、暖房器具と換気による結露対策をお客さまにアドバイスさせて頂きました。

ちょっと一言

「私の夏」



大阪事業部 奈良営業所

山本 実紀

皆様、暑い中お疲れ様です。

先日ディズニーワールド(ディズニーランド、ディズニーシー)へ行ってきました。

35周年イベントの祝祭感に溢れ、ワールドパーク内に入ると子供も大人も男女問わず、キャラクターのカチューシャやグッズなど身につけている人でいっぱいでした。ディズニーは年齢も性別も関係なく、どんな人でも愉しめる夢の世界ですね。アトラクションやパレードそしてエリアごとのエンターテイメント感は、日常の世界を忘れさせてくれます(笑)

以前、事業部CS社員研修で講師の前川あゆ先生が、最後に好きな言葉を話され、記憶に残っているのが、ウォルト・ディズニーの「ディズニーランドはいつまでも未完成である。現状維持では後退するばかりである。」という言葉です。いつ行ってもテンションアップするのは私だけでしょうか。正にドリームカムトゥルーですね。

ワールドパーク内は雰囲気や環境が徹底され、ゴミひとつなくトイレも清潔でした。そしてキャストさんたちの笑顔がステキで、またゲストへのサービス精神も大満足でした。キャストさん同士が常に笑顔で会話している姿も印象的で、多分すべてがゲストへの心からのウエルカムだと思います。

5歳になった子どもがいつもより数倍元気よく「ありがとうございました。」という場面でも自分からすすんで挨拶ができていたことに驚きました。子どもに対して普段もそうできるような家庭や環境づくりも大切だと感じました。私、公私において自分自身に向上心を持ち続けようと強く思いました。私にとって一生残る「私の夏」でした。

最後になりますが、猛暑続きで危険な暑さになっています。無理せず熱中症予防対策をたてて乗り切りましょう。

入社社員紹介

村田 和也 リニューアル工事部 29歳

趣味:スノーボード・ゲーム

「少しでも早く皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願ひいたします。」

中川 夏紀 設備事業部 東海統括課 46歳

資格:インテリアコーディネーター

趣味:パン作り・淹めぐり

「覚える事たくさんですが、頭フル回転させて頑張りますのでよろしくお願ひします！」

